

二十一世紀なぞの

新たな年明けとともに米国ではオバマ大統領が就任した。混純の中から、新しい方向を示してくれることを世界が期待している。

『環境負荷低減へ向けた低炭素社会の実現』そのために二十世紀が得た低炭素社会の文明や価値観を見直し、二十一世紀が目指すべきものをローカルなものに引き上げ、その

100年に一度

世の中は100年に一度の恐慌と言われ不況脱出へ向けて懸命である。『おぼれるものはわらをもつかむ』想いで元旦の朝、地元の神社であみくじを引いたらなんと大吉であった。かしよく読んでいくといことは書いていない。

『謙虚に用心しなさい』とあり、なんとなく大吉の文字がすすんでしまう内容である。景気のよい大吉ではないが、もしかしたら100年に一度のこの難局に遭遇していることが思われ僥倖であるものかもしれない。ピンチはチャンスなのだ。「災転じて福となす！」根拠のない元気があふれる元気になるかもしれない。100年に一度だろうが200年に一度だろうがどんとこいである。こちらには大吉がついている～!



50年一度に

この度ちょっとした仲間がワカサギ釣り大会を開催。生まれて50年目にして初めてワカサギ釣りに出かけた。そもそも釣りは数えるほどしかしたことがなく、糸をたらずと魚と自分とのご縁があるかないかのことと想っていた。絶好のワカサギ釣り日和? (-20℃はあったら) 中、夜中からテントを張り準備万端! いっぱい釣れたらどうしようなどとイメージトレーニングをしながら寒さ対策のウィスキーを飲み午前5時試合開始。想像以上に小さな針に餌付けが思うにまかせず老眼を恨めしく思う。それでもO君の助けを借り糸をたらず。「果報は寝て待て」「あわてるこじきはもらいがすくない」と心の中でつぶやきながらじっと待つ。

しかし・・・さっぱり釣れない。達人はどうかと隣のテントをのぞくと結構釣れている。よく観察すると竿先に伝わる微妙な振動を見逃さないのだ。たかがワカサギごとときとあなどれない。経験・技術・情熱・努力・向上心・忍耐、そして道具の集大成であることを知った。

9時試合終了、釣果は6匹! ころうじて最下位をまぬがれてブービー賞である。



Mさん貴重な一匹



この姿勢で4時間・・・

HUKUDA 二戸の宝

1月11日グラフィックデザイナーの福田繁雄氏が急逝されました。氏は中学、高校と二戸で過ごされ現在二戸シビックセンターに日本で唯一の常設展示場である福田繁雄デザイン館があります。また、市内各所に氏のデザインした作品を残していただきました。氏の作品を見ると『ん?』と時間が一瞬止まったような不思議な感覚におちいります。そんな感覚は私達が日常忘れていたものではないでしょうか。氏が残してくれた財産を大事に育てて生きたいものです。

⇒ 田中館愛橋



VICTORY



～石の威力～ 重くてよかった

数ある製品のうち砕石や砂利は重い部類である。紙などは一枚ごとに軽い束になると存外重い。(重い札束を持ってみたいものだが) しかし、それよりはるかに石は重い。今月は重くてよかったというお話。県境舌崎地区の馬淵川に接する市道が崩れ通行止めとなった。復旧工事となったものの川床までは水面下1.5~2.0mで通常の河川工事のような締切りは不可能である。そこで川床に大きな石を並べて水面上まで立ち上げその上に盛土することとなった。水中では浮力が働く為軽い素材では役に立たない。普段う少し石が軽かったらと思っているのだが、今回は石の重みのありがたさを知った。1個1~3kg程度の石がありま



発行



(株)...

砕石部



やすらかに

昨年12月号でご紹介したご近所のパトロール犬が県道で車にひかれて帰らぬ犬になってしまった。聞くとところによると2軒隣の飼育犬で15歳だったそうだ。人間で言うと76歳位である。冥土でもパトロールしているのだろうか



編集後記

先日で東京へ行ってきたのですが、昨年からようやくETCを付け、初めての長距離! 夜中の12時~4時に高速道路を利用すると半額になり、約12,000円かかる高速料金が、なんと6,000円弱で行くことができるんですよ! なんだか実家が近くなったような気がして嬉しくなりました。ETCの上手な利用方法を知るともっともっとお得なことが増えるのだろうか... 遠くへ出かけたくなくなりますね~(o)